

第3回（仮称）下井草まちづくりラボ

まちあるきの振り返り

&

小・中学生の夏休みまちづくり
プロジェクトの成果発表会

2024年8月24日（土）

杉並区市街地整備課鉄道立体係



本日の流れ

- 1 開会
- 2 第3回（仮称）下井草まちづくりラボについて
- 3 鉄道連続立体交差化についてのミニ講義（日本大学 関教授）
- 4 まちあるきの振り返り
- 5 小・中学生の夏休みまちづくりプロジェクトの成果発表
- 6 次回のスケジュール
- 7 閉会

1

開会



2

第3回（仮称）

下井草まちづくりラボについて



**第3回（仮称）下井草まちづくりラボでは、
主に以下の3つについて行います。**

① 鉄道連続立体交差化についてのミニ講義

（日本大学 関教授）

② まちあるきの振り返り

③ 小・中学生の夏休みまちづくりプロジェクトの成果発表

① 鉄道連続立体交差化についてのミニ講義（日本大学 関教授）の目的

鉄道連続立体交差化後の下井草駅周辺のまちの姿を イメージする

次回の第4回（仮称）下井草まちづくりラボでは、鉄道連続立体交差事業や駅周辺のまちづくりについて専門家を招いて勉強会を実施します。

そのため、次回の勉強会に向けて、鉄道連続立体交差化をイメージしやすくするために、模型を作ってもらいました。

今後、下井草駅周辺をどんなまちにしていきたいか、どんな施設が必要か等、各々で下井草の将来のまちの姿をイメージします。

②まちあるきの振返りの目的

まちの傾向を全体で共有する

まちの将来像を考えるにあたり、実際にまちあるきをして、改めて気づいたまちの魅力や課題を参加者全体で共有します。共有した内容から、下井草駅周辺がどんなまちなのか、まちの傾向を把握します。

③小・中学生の夏休みまちづくりプロジェクトの 成果発表の目的

将来を担う子どもたちが考えるまちの将来像を知る

今後、将来を担っていく世代である小学生・中学生が作成した、鉄道連続立体交差化を踏まえた下井草駅周辺のまちの模型の発表を聞き、子どもたちが考えるまちの将来像を把握します。

3

鉄道連続立体交差事業に
ついての三二講義
(日本大学 関教授)



前方のスクリーンをご覧ください



4

まちあるきの振り返り



【ワークの手順】

※現地を歩いたことで「発見したこと」「具体的に確認したこと」を共有しましょう！

1 付箋紙にコメントを書いてください（5枚くらい）



・・・魅力的なこと



・・・問題点、気がかりなこと



・・・提案、質問（質問の場合は左上にQと書いてください）

2 大地図に貼ってください

既に付箋紙のある場合は、寄せて貼ってください
（※次ページ参照）

まち歩きの結果を共有しましょう



5

小・中学生の夏休みまちづくり プロジェクトの成果発表



第1回目、第2回目の（仮称）下井草まちづくりラボの内容を踏まえ、令和6年8月8日（木）に小学生・中学生と、今後、鉄道連続立体交差事業によって、西武新宿線（野方駅～井荻駅間）が立体交差化した際に、「どんなまちに住みたいか」、「どんな施設が必要か」などについて考え、将来のまちの模型づくりを行いました。

模型制作の手順

① 鉄道連続立体交差事業とは何かについて説明



② まちあるきの振返り

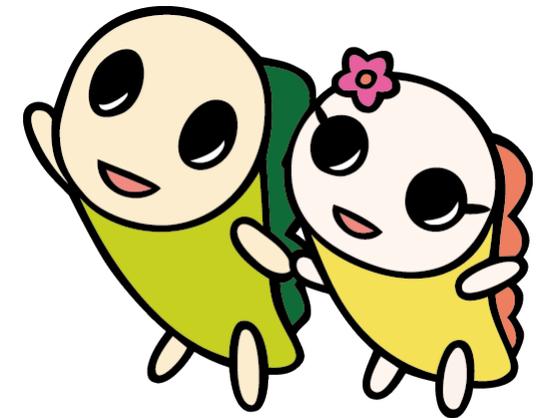


③ 模型づくり

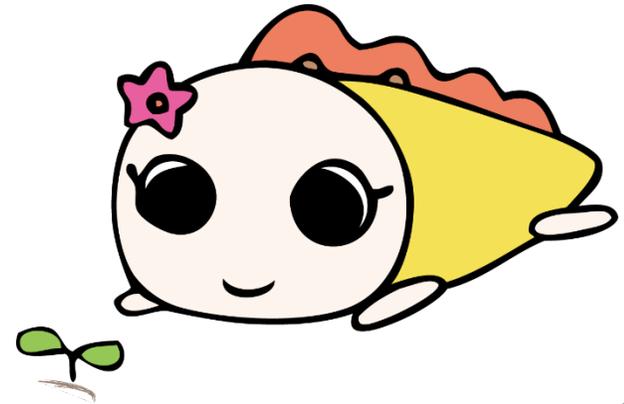
※区からは、模型づくりについて特に条件を指定せず、子どもたちには現在の建物や道路を意識しすぎないで、自由に作成いただきました。

**本日は、小学生・中学生が作成した模型を皆さん
に発表いたします。**

質問や感想がありましたら、ぜひお願いいたします。



**ここで、小学生・中学生の発表の
前に10分間休憩をとります。**



6

次回のスケジュール



第4回（仮称）下井草まちづくりラボ

日時：9月21日（土）9時～11時

会場：八成区民集会所

※会場が桃井第五小学校体育館から八成区民集会所へ変更になっていますので、お間違いないようお願いします。

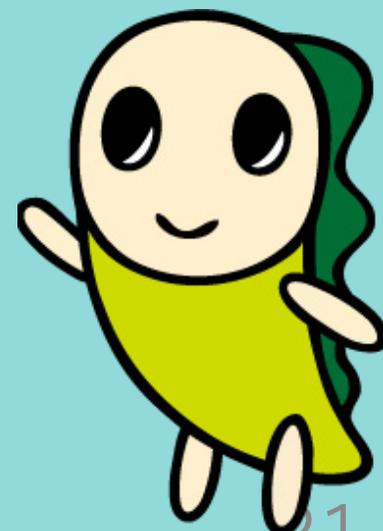
**内容：鉄道の連続立体交差事業及び駅周辺の
まちづくりについての勉強会**

講師：日本大学 理工学部土木工学科教授

中村 英夫先生（東京都事業評価委員会）ほか

7

閉会



長時間

お疲れさまでした

お配りしたアンケートのご協力をお願いします。

アンケートの記入が終わった方は、お帰りの際に
受付へ提出をお願いします。

後日提出される方は、二次元コードまたはFAX
にて提出をお願いします。（8月26日（月）まで）

